

# IMJ NEWS LETTER

発行: 一般社団法人 日本統合医療学会 本部 〒113-0023 東京都文京区向丘1-6-2 Email : [info@imj.or.jp](mailto:info@imj.or.jp) FAX : 03-3812-5167

## 「民主党統合医療を普及・促進する議員連盟」視察報告

去る、8月9日(火)民主党統合医療議連の参議院議員山根隆治先生(議連幹事長)、大島九州男先生、梅村 智先生3名と(社)日本統合医療学会からは仁田新一副理事長、川嶋みどり理事、小野直哉代議員を始め、計12名が統合医療センターの設置候補地である名取市(佐々木十一郎・ささきいそお市長)と統合医療を既に導入・推進している遠田(とおだ)郡涌谷(わくや)町を視察した。



(参考: 佐々木市長コラム <http://www.city.natori.miyagi.jp/bunya/politics/mayor/column>)

涌谷町では医療・介護・福祉行政を統合した涌谷町町民医療センターと漢方を取り入れた医療施設(病棟)を青沼センター長の案内で視察し、統合医療の導入により医療と介護現場で成果が上がっている事例に関して説明を受けた。

同センターには町行政の福祉部局も併設されており、高齢化社会に対する行政の取り組みの中で同センターが十分な機能を果たしていることを実感した。

また、涌谷町が試験的に薬草栽培を行うなど、産業界との多角的連携を積極的に展開

していることが特に印象的であった。

午後には名取市の介護施設「うらやす」の職員と利用者が一時避難している「春の森から(仙台市)」を訪問し、ヨーガ・アロマセラピーなどの施術実践現場を視察した。

その際、佐々木恵子施設長から東日本大震災直後の津波被害の大きさと壮絶な脱出・救出活動の説明を受け、私たちは被



害の甚大さと統合医療の担うべき使命を再認識し、決意を新たにした。

その後、一行は名取市で最も被害が大きかった閑上（ゆりあげ）地区を視察し、名取市役所で佐々木市長と面談し、「震災復興に国の協力を要請する事はもちろん、統合医療センターを名取市に誘致し、震災復興の原動力である被災者の健康支援体制の整備を早期に実現したい」との強い要請を受けた。



また、移動中の時間を利用して、仁田副理事長が山根隆治先生、大島九州男先生にDMAT（Disaster Medical Assistance Team）に続く、中・長期的な統合医療チームIMAT（Integrative Medical Assistance Team）を創設することの必要性・重要性を説明し、活発な議論がなされた。（※本件に関しては、視察後の8月11日に行われた参議院予算委員会で大島九州男先生から細川律夫厚生労働大臣に対して「統合医療という今言葉が少しずつ出ております。鳩山前総理も統合医療の推進を所信表明で言いましたが、この統合医療のチームをインテグレート（Integrate）のI（アイ）を取って『IMAT（アイマツト）』とかいうような形で創ることにより、被災した後の色んな人たちの未病、予防に対するチームを創設していくことが大変必要であると考えます。それについて細川厚労大臣の見解をお願い致します。」との質問がなされた。）

【文責：(社)日本統合医療学会事務局】